



イギリスより専門家が来日!

国際シンポジウム

2025年

9月15日(月・祝)

13:00-16:30

大阪市立自然史博物館

# 大阪湾岸「いのち輝く」を未来へ

～はじめよう! 連携が生み出す豊かな生物多様性～



40年以上前に市民運動から生まれた先駆的な人工干潟・大阪市 南港野鳥園 2025.7.25 撮影

## 基調講演

「沿岸域のネイチャーポジティブとは」

道家 哲平 (国際自然保護連合日本委員会会長)

## 特別講演

「渡り性水鳥の危機的状況と大阪湾の重要性」

ニコラ・クロックフォード (英国王立鳥類保護協会主任役員・シギドリ研究員)

「沿岸生息地再生に関する国際的な事例研究から大阪湾を考える」

ジェフ・キュー (英国王立鳥類自然保護協会・湿地再興アドバイザー)

## パネルディスカッション

「大阪湾岸の生物多様性を高めるために」

パネリスト: 講演講師3名・納家 仁 (日本野鳥の会大阪支部長) ほか

ファシリテーター: 佐久間 大輔 (自然史博物館)

\*敬称略

日時

9月15日(月・祝)  
13:00-16:30 (開場 12:30)

会場

大阪市立自然史博物館 講堂  
06-6697-6221(担当: 佐久間)  
monitor@omnh.jp

アクセス

大阪 Metro 御堂筋線 [長居] 下車  
徒歩 800m

申し込み

不要 (定員 170 名)

参加費

無料 (博物館入館料必要)

言語

日本語・英語 (通訳あり)

※ ライブ・アーカイブ配信

YouTube@大阪市立自然史博物館



問い合わせ

シンポジウム開催事務局  
npsympo2025@nature.or.jp



おおさか生物多様性

共催: 国際自然保護連合日本委員会、(公財) 日本野鳥の会、(公財) 日本自然保護協会、  
(公財) 世界自然保護基金 (WWF) ジャパン、(公社) 大阪自然環境保全協会、  
日本野鳥の会大阪支部、大阪市立自然史博物館

後援: 日本景観生態学会、応用生態工学会、自然環境復元学会、日本緑化工学会、日本生態学会、環境社会学会、  
環境科学会、環境アセスメント学会、  
関西自然保護機構、  
鳥類保護連盟「コアジサシ研究センター」

このイベントは 2025 年度環境再生保全機構地球環境基金の  
助成を受けています。助成名「SDGs万博市民アクション」

